

# かえる倶楽部タイムズ

## 特集 「不整脈治療の新時代」

### 【着任・就任のご挨拶】

平素より患者様をご紹介いただき、誠にありがとうございます。  
 2026年4月に着任しました伊勢田高寛です。  
 福岡県の小倉記念病院で4年、日本赤十字社和歌山医療センターで7年、循環器診療に携わってまいりました。  
 不整脈診療を専門にしています。地域の先生方との連携を大切にしながら、心房細動をはじめとする不整脈診療に取り組んでいきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。  
 今回のかえる倶楽部タイムズでは私たちが行っている不整脈診療の一端を御紹介させていただきます。

関西電力病院  
 循環器内科

医長 伊勢田 高寛



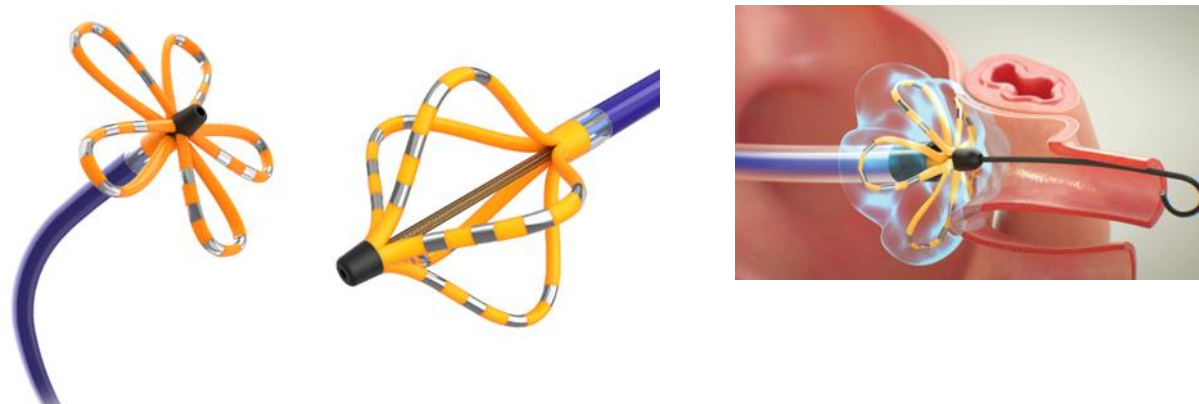
日本内科学会(認定医・総合内科専門医)  
 日本循環器学会専門医  
 日本不整脈心電学会専門医  
 ICD/CRT研修修了、リードレスペースメーカー(Micra)実施医  
 リードレスペースメーカー(Aveir)実施医  
 クライオアブレーション(Arctic Front)実施医  
 左心耳閉鎖術(Watchman)実施医

### 「心房細動治療の新時代」

心房細動は最も頻度の高い不整脈の一つであり、動悸や息切れなどの症状だけでなく、脳梗塞や心不全の原因となる重要な疾患です。その多くは肺静脈周囲から発生する異常興奮が引き金となり、加齢に伴う心房の線維化によって持続しやすくなります。また、高血圧、糖尿病、肥満、睡眠時無呼吸症候群に加え、過度の飲酒や喫煙も重要なリスク因子として知られています。そのため、生活習慣の改善が治療において重要です。心房細動に対するカテーテルアブレーションは、肺静脈からの異常な電気信号を遮断する治療です。これまでは高周波ラジオ波による焼灼などの熱エネルギー治療や、冷凍凝固(クライオアブレーション)による治療が行われてきましたが、近年はパルスフィールドアブレーション(Pulsed Field Ablation: PFA)という、非熱的な作用を利用した新しい治療法が登場しました。

PFAは極めて短時間の高電圧パルスを組織に与えることで、細胞膜に微細な孔を形成し、心筋細胞を選択的に障害する「不可逆的電気穿孔(Irreversible Electroporation)」という原理を利用しています。熱や冷凍凝固による組織破壊とは異なり、心筋への選択性が高いことが特徴で、食道や横隔神経、肺静脈など周辺組織への影響を最小限に抑えることが可能です。

そのため従来法と比較して安全性の向上が期待されており、治療時間の短縮にも寄与しています。当院でも2025年よりこの治療を導入し、現在、初回のアブレーション治療はほぼ全例パルスフィールドアブレーションで行っております。



### 「進化するリードレスペースメーカー」

一方、ペースメーカー治療も進歩しており、従来のリード付きペースメーカーに加えて、リードがないリードレスペースメーカーが使用可能となっています。

近年では右心室だけでなく右心房にも留置可能なデュアルチャンバー型リードレスペースメーカーが登場し、より生理的なペーシングが可能となりました。

リード留置に伴ったリード関連合併症やポケット感染のリスク軽減が期待されます。



当院でも積極的にリードレスペースメーカーの植え込みを実施しております。  
 以上、簡単ですが我々が取り組む不整脈診療を御紹介させていただきました。  
 心房細動や徐脈性不整脈でお困りの患者様がおられましたら、お気軽にご紹介・ご相談下さい。  
 また当科では様々な循環器系の救急患者様を24時間受け入れております。当科へのホットラインは下記の通りです。

 関西電力病院 循環器ホットライン

**050-7102-7414**

24時間循環器内科医が対応します。  
 緊急時はホットラインに御連絡下さい。

どうぞよろしくお願いいたします。

【地域医療連携室】

平日 8:30~19:00、土曜日 8:30~12:00

TEL 06-7501-1406 FAX 06-6458-0347